



事業の海外進出で西洋美術と出会う

西洋絵画を中心にしたコレクションを展示する「ヤマザキマザック美術館」が、ことし4月、名古屋市東区でオープンしました。名古屋の中心部ですので、多くの人に足を運んでいただけると期待しています。

私は名古屋っ子で、中川区で子ども時代を送りました。戦時下の中学時代は、勤労学徒です。旋盤などを使う仕事でしたが、戦後おやじのやっている工作機械の会社に入ったわけだから、つながっていますね。勤労学徒の経験が生きたというのは、私くらいじゃないでしょうか(笑)。

経営が私に替わってからアメリカで生産を始めました。ヨーロッパでもビジネスを進めるようになりました。海外にいる間、土日に美術館へ足を運び、画商で気に入った絵を買うようになりました。最初買った絵がボナールです。それがコレクションの始まりです。

フランス美術の流れを一望する作品群

自分の興味の赴くままに集めたのですが、作品群を振り返ると大きな流れが来ていました。ヴァトー、ブーシェ、フラゴナール、シャルダン。このあたりはロココの時代ですね。それから新古典主義のアンゲル、ロマン主義のドラクロワ。写実主義、印象派、エコール・ド・パリまであって、ちょうど18世紀から20世紀にわたるフランス美術200年の流れを一望できる作品のコレクションになっていました。

せっかく集めた作品ですから、より多くの人

美術館オープンは 地域貢献をめざす 企業文化の発信です



ヤマザキマザック美術館 館長
山崎照幸さん

ヤマザキマザック代表取締役会長。昭和3年生。名古屋市出身。昭和21年、山崎鉄工所入社(現ヤマザキマザック)。昭和37年、代表取締役社長就任。平成13年、代表取締役会長就任。現在に至る。昭和56年、レオポルド勲章受章(ベルギー)。昭和63年、藍綬褒章受章。平成11年、SMEエンジニアリング国際名誉賞受章(米国)。平成15年、旭日中綬章受賞



当時のサロンの雰囲気を再現した美術館内

に見ていただきたいと、名古屋に新築した当社の複合施設に美術館をオープンしました。フランス絵画や家具、ガラス工芸品など約200点を展示しています。会場の壁面やシャンデリアなども、その時代のサロンの雰囲気を再現しています。作品と環境一体で、当時の精神や雰囲気を感じていただけたらと思います。美術館オープンの際にフランスの在日大使もお見えになって、非常に喜んでくださいました。

遊びもなければ人は集まらない

同じビルに工作機械のギャラリーも開設しました。工作機械をご存じない方でも楽しんでいただけるよう工夫しています。工作機械に生涯を捧げてきた者として、多くの人にその重要性を知っていただきたいのです。数年後に美濃加茂で、本格的な工作機械博物館を建てる計画も進めています。

西洋美術やアール・ヌーヴォーの美術館、工作機械のギャラリー、どちらも私どもにとっては同じ企業文化です。名古屋は産業のまちですが、見る物も行く場所も少ない。産業だけでなく、遊びもないと人が集まらない。今回の美術館オープンを地域に貢献するための企業文化の発信として受け止めていただければうれしいですね。

私のお気に入りの場所

【“^{しけみち}四問道” 界限—名古屋市町並み保存地区—】

名古屋駅から徒歩で東へ10分程行った堀川沿いに古い町並みがあります。四問道は、元禄13年(1700)の大火の後、防火の目的や商業活動のため道幅を四間(約7メートル)に広げたことにより、その名がついたといわれています。東側には石垣の上に白しつくいと黒板壁の土蔵、西側には格子戸の美しい町家が立ち並び、名古屋市都市景観賞を受賞した食事処・喫茶店やガラス工芸品店等があります。軒が低く、落ち着いた雰囲気の何度も訪れたい所で、界限には浅間神社、屋根神様、子守地蔵などもあります。都心にありながら、それを忘れさせてくれる下町情緒が今に残る貴重な場所です。

電通名鉄コミュニケーションズ プロモーション局 加藤忠廣さん
一級建築士事務所長

